

令和2年度

青森市民図書館協議会

日時 令和3年2月16日（火）
午後3時～

場所 青森市民図書館：8階会議室2

青森市民図書館

青森市民図書館協議会委員名簿

区分		氏名	再・新	団体等の役職
学校教育の関係者	館下	館下 譲治	新	青森市小学校教育研究会学校図書館部会会長（青森市立高田小学校校長）
	長尾	長尾 亜希子	新	青森市中学校教育研究会学校図書館部会事務局長（青森市立新城中学校教諭）
	安田	安田 聡子	再	青森県立青森南高等学校教諭
社会教育の関係者	伊藤	伊藤 理子	再	青森市読書団体連絡会副会長
	三浦	三浦 博美	新	青森市PTA連合会副会長
家庭教育の向上に資する活動を行う者	三宅	三宅 万里子	新	青森市家庭教育サポーター連絡会子育てサポーター
	中園	中園 裕	再	青森県環境生活部県民生活文化課文化・NPO活動支援グループ主幹
学識経験のある者	安田	安田 真知子	新	（公募）
	田中	田中 高央	新	（公募）
	鶴岡	鶴岡 真理子	新	（公募）

教育委員会が特に必要と認める者

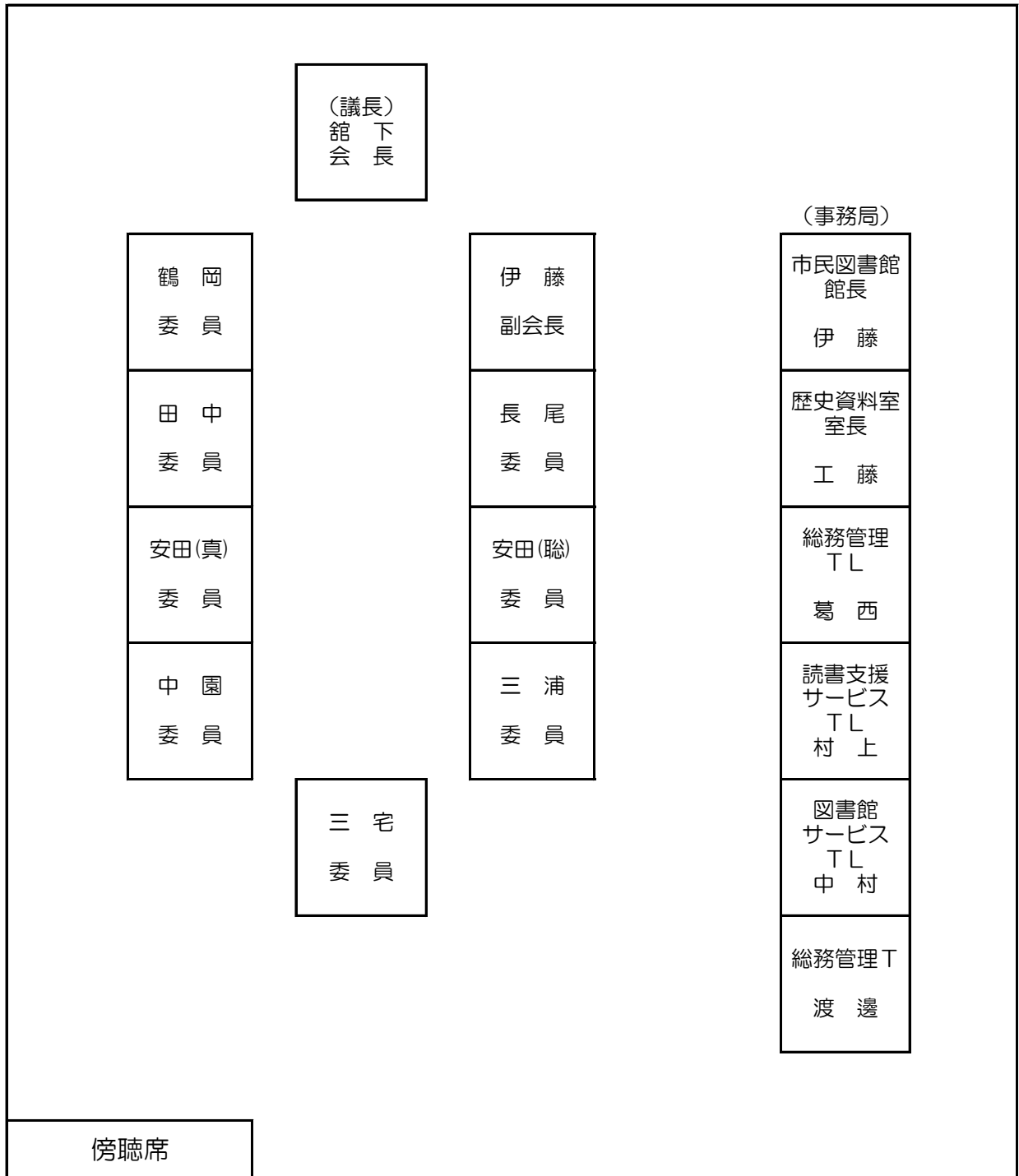
任期 令和元年十月一日から令和三年九月三十日まで

青森市民図書館協議会席図

令和3年2月16日（火）

青森市民図書館8F

会議室2



令和2年度 青森市民図書館協議会

日時 令和3年2月16日（火）
午後3時～

場所 市民図書館：8階会議室2

次 第

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
 - (1) 令和3年度の青森市民図書館運営について
 - (2) 青森圏域連携中枢都市圏内の相互利用事業について
 - (3) 利用者カードの有効期間について
- 4 その他
- 5 閉 会

報告事項（１）

令和３年度の青森市民図書館運営について

新型コロナウイルス感染症への対応状況

- 窓口等業務委託職員を含む全職員のマスク着用の励行
- アルコール消毒液の設置（6、7階入口）
- 各窓口にビニールカーテンを設置
- カウンター、検索端末、図書等の消毒
- 感染予防策周知のための館内放送（毎日3回、10時・13時・17時）
- 貸出・返却サービスに限定（令和2年3月26日から令和2年5月31日まで）
- 臨時休館（令和2年4月29日から令和2年5月6日まで）
- 閲覧室等の利用を再開（令和2年6月1日から、座席の間引き・利用時間制限）
- 移動図書館の巡回休止（令和2年4月30日から令和2年5月29日まで）
- イベントの中止
 - ・わくわくおはなしかい（毎週日曜日）
 - ・おひざにだっこのおはなしかい（毎週金曜日）
 - ・たのしいかみしばいのじかん（毎週土曜日）
 - ・市民センターおはなし会（油川・大野・中央・戸山）
 - ・あおもり歴史トリビアを読む会（令和2年7月から再開）
- 視覚障害者、目の見えづらい方を対象とした対面朗読の休止

令和3年度の青森市民図書館運営について

市民図書館では、市民の多様なニーズに対応しつつ、個人や地域の課題解決に役立ち、郷土への愛着を深める図書館資料を充実させるとともに、市民の誰もが気軽に学べる知の拠点施設として、活用機会の拡大や読書活動を推進するサービスの提供に努めます。

1 管理運営について

(1) 蔵書数

(冊)

年度	H28	H29	H30	R1	R2
蔵書数	1,003,681	1,019,060	1,033,820	1,045,419	1,054,622

※「R2」はR3 .1. 末日まで（以下同様）

(2) 貸出冊数

(冊)

年度	H28	H29	H30	R1	R2
貸出数(全体)	1,190,750	1,164,139	1,152,481	1,145,580	826,888
貸出数(本館)	826,942	801,448	805,687	816,479	624,703

(3) 入館者数（本館）

(人)

年度	H28	H29	H30	R1	R2
入館者数	540,439	491,453	511,372	490,124	300,965

(4) 窓口等業務

- ・青森市民図書館窓口等業務委託

受託業者：ACB・青森県書店商業組合（代表：青森コミュニティビジネス(株)）

委託期間：平成30年4月1日～令和5年3月31日（5年契約）

※公募型プロポーザルにより選定

(5) 館内の利用者ポストへ投函された意見への回答コーナー

- ・利用者ポストへ寄せられたご意見について、7階入口掲示板に回答掲示。

(6) 広報活動等

- ① 市民図書館ホームページ、広報あおもりをはじめ、各種広報媒体への掲載依頼
- ② 移動図書館車の活用（チラシ配布等）による周知活動
- ③ 市民図書館フェイスブック
- ④ 歴史資料室メールマガジン（毎週金曜日）
- ⑤ 館内掲示

2 館内事業について

(1) 資料収集・提供

① 蔵書数等

「1 管理運営について」のとおり。

② 雑誌スポンサー制度

(社,冊)

年度	H28	H29	H30	R1	R2
スポンサー数	28	22	20	17	13
雑誌数	32	25	23	18	13

③ 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス

(件)

年度	H28	H29	H30	R1	R2
閲覧数	23	30	32	37	16
複写数	8	9	10	10	8

(2) 展示事業

市民図書館の各フロア（6階、7階、児童、8階）展示スペースにて実施。

① 令和2年度・・・63回実施の見込み

- ・めざせ！世界遺産登録 北海道・北東北の縄文遺跡群（7/6～11/30）
- ・家で楽しく過ごそう（5/17～6/28）
- ・読む ねぶた祭（7/25～8/8）
- ・三浦哲郎 没後10年（8/19～9/30）など

② 令和3年度・・・64回実施の予定

- ・馬場のぼる 没後20年（4～5月）
- ・オリンピック・パラリンピック（5月～8月）
- ・免疫力を高めよう（9月）など

(3) 企画事業

① おはなし会（金・土・日）（※）

② 大人のための朗読会（年3回程度）（※）

③ 「おはなしはまほう」（児童ライブラリーだより）：年4回発行

④ FM あおもり「あいことば」での絵本のリクエスト募集と番組で朗読された絵本の展示：毎週日曜日放送(午前9時30分～10時)

(※) 令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止のため休止。

令和3年度は、社会情勢を勘案しながら再開検討。

(4) 委託事業者による主な事業

① 地元の話題をテーマにしたブックトークイベントの開催（※）

② 親子対象の各種セミナー（食育・防災等）の開催（※）

③ 地元書店等との連携事業（※）

（※）令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止のため休止。

令和3年度は、社会情勢を勘案しながら再開検討。

3 館外事業について

（1）市民センター等への司書派遣

12 市民センター等へ司書職員を随時派遣する。

- ・窓口業務の支援や図書コーナー等の環境整備等

（2）保育所・幼稚園等への支援

- ① おはなし会・・・司書職員が訪問し、おはなし会を実施。（16 か所）
- ② 幼稚園等(9か所)・・・絵本・紙芝居 30 冊貸出。（2 か月に 1 回）
- ③ 浪岡地区保育所等(10 か所)・・・絵本・紙芝居 30 冊貸出。（毎月）

（3）学校支援関係

- ① 移動図書館学校訪問（5 月～11 月）
- ② 授業支援（5 月～2 月）
 - ・調べ学習支援（百科事典を使つての調べ方 等）
 - ・読書啓発（読み聞かせ・本の紹介 等）

《実施校数》

(校)

年度	H28	H29	H30	R1	R2
移動図書館	11	11	11	10	9
調べ学習支援	29	24	29	29	22
読書啓発	8	3	5	6	13

- ③ 学校団体貸出…遠隔地校を中心に 19 校（小学校 18 校 / 浪岡中学校）
※令和2年度は、13 校（小学校 12 校/ 浪岡中学校）
- ④ 学校貸出文庫…ボランティアによる小学校内文庫 2 校
- ⑤ 風のはこんだおはなし会（学校編） 〈青森市読書団体連絡会との共催〉
小学校でのおはなし会の開催(市読連より図書寄贈)
※令和2年度は中止、代替事業として市内全児童に「風のはこんだこそあどブックリスト」を配布)

（4）移動図書館

- ① 夏期（4 月～11 月）
 - ・市内 35 ステーションの巡回
 - ・学校の協力を得て巡回ステーションを7小学校に設置
- ② 冬期（12 月～3 月）：
 - ・6 ステーションの巡回

・2か所の図書の常設所設置(滝内福祉館・奥内児童館)

《貸出冊数》 (冊)

年度	H28	H29	H30	R1	R2
夏期	30,811	29,005	26,744	23,795	15,050
冬期	1,904	1,946	1,407	1,524	1,546

(5) 貸出文庫等

① 団体貸出

・1か月300冊を上限に図書館から配本し、各地域で図書の貸出等を行う。

貸出文庫 30文庫

放課後児童会 52か所(各50冊)

② 特別貸出(授業用・おはなし会用として)

図書30冊 …2週間貸出

紙芝居舞台・大型絵本台 …2週間貸出

大型紙芝居・エプロンシアター …2週間貸出

(件)

年度	H28	H29	H30	R1	R2
利用件数	160	190	216	214	147

(6) 風のはこんだおはなし会(地域編) 〈青森市読書団体連絡会との共催〉

7月中に市内6地域で開催。

(人)

年度	H28	H29	H30	R1	R2
参加者数	98	109	52	54	中止

(7) おはなし・読み聞かせ講習会

地域における読み聞かせボランティアの養成。

実施場所：市民図書館

(回,人)

年度	H28	H29	H30	R1	R2
回数	3	2	2	2	1
修了者数	29	19	34	39	8

(8) 学校と地域(家庭)と公立図書館を結ぶ読書懇話会

子ども達の読書活動推進のため、学校・地域及び市民図書館が、情報交換や意見交換を通じて、読書活動推進に係る課題を認識し、共有化を図るとともに、その課題解決に向けて連携・協力していくために実施。

日時：2月第2水曜日(休館日)

会場：市民図書館6階

※令和2年度は中止

(9) 青森市民図書館ライブラリーフレンズ(ボランティア活動)

〔会 員 数〕 72 名(令和 2 年度は 77 名、令和 3 年度は新規募集なし)

〔対 象〕 市内在住の 18 歳以上の方

〔活動内容〕

・ 図書館利用者サービス部会(12 名)

さわる絵本の作成や対面朗読サービスへの協力

※令和 2 年度は 7 月から活動

・ 児童サービス部会(31 名)

子ども向けおはなし会での読み聞かせなど、児童サービスへの協力

※令和 2 年度はおはなし会を休止したため活動休止

・ 資料整備部会(29 名)

図書修理や書架の整理など、資料整備への協力

※令和 2 年度は 7 月から活動

4 歴史資料室事業について

- ① 収集した市史編さん資料等及び歴史講座のアーカイブ化
- ② 歴史講座「あおもり歴史トリビアを読む会」の開催
※令和 2 年度
 - ・ 4 月～6 月まで中止
 - ・ 7 月～令和 3 年 1 月まで
毎月第 3 水曜日 11:00～11:30 14:00～14:30 18:30～18:30
《定員をこれまでの 25～50%とし、事前収録した動画の視聴形式で開催》
 - ・ 令和 3 年 2 月～
毎月第 3 水曜日 (昼の部) 14:00～ (夜の部) 18:30～
《定員をこれまでの 40%程度とし、講義形式に戻して開催予定》
- ③ 市民サークル等への講師派遣
※令和 2 年度は 8 回
- ④ 市史編さん資料で構成する館内展示
※令和 2 年度は 5 回実施(館内事業の展示回数に含む。)
- ⑤ リンクモア平安閣市民ホール 1 階での展示
※令和 2 年度は令和 3 年 3 月に、写真家・工藤正市氏の写真展を開催予定
(個展としては初開催)
- ⑥ 青森市の歴史に関する情報提供や問合せに関する対応など
※令和 2 年度は 54 件(令和 3 年 1 月末現在)
- ⑦ フェイスブックページの開設(令和 2 年 9 月 23 日開始)

報告事項（2）

青森圏域連携中枢都市圏内の相互利用事業について

図書館相互利用事業（青森圏域連携事業）について

1 青森圏域連携中枢都市圏について

令和元年12月25日、青森市と、平内町・今別町・外ヶ浜町・蓬田村がそれぞれ連携協約を締結し、5市町村による青森圏域連携中枢都市圏形成の取組みを開始した。

この青森圏域連携中枢都市圏ビジョンでは、圏域の将来像を「うみ・まち・ひとを絆で結ぶ青森圏域」とし、2045年の圏域人口の将来展望を22.6万人と見込み、各種事業を連携して取り組んでいくこととしており、圏域全体の生活関連機能サービスの向上を図るための取組みの一つとして、令和3年2月1日より、「図書館相互利用事業」を実施することとした。

2 事業概要

事業名	32	図書館相互利用事業				関係市町村	全市町村
内容	図書館の利便性向上を図るため、圏域の図書館・図書室において、圏域住民に対し図書館等資料の貸し出し等のサービスを相互に提供する。						
連携効果	圏域住民の読書機会の増大						
事業費見込額 (単位：千円)	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	計	
	126,853	126,853	126,853	126,853	126,853	634,265	
連携市町村の 役割分担	青森市	事業の実施及び周知活動					
	連携町村	事業の実施及び周知活動					
成果指標	指標		現状値（調査時点）		目標値（2024年度）		
	年間貸出数		1,163,775冊 (2018年度実績)		1,200,000冊		

（「青森圏域連携中枢都市圏ビジョン」より抜粋）

3 4町村住民の青森市民図書館の利用

【～令和3年1月31日】

- ① 青森市内への通勤・通学者には利用者カードを交付。
- ② それ以外の方は「青森県内図書館共通利用券」（別紙1）提示により利用者カードを交付。（県内の共通サービス）
⇒ 資料の貸出・予約等、青森市民と同等のサービスが利用可能。



【令和3年2月1日～】

- ・ 4町村住民であれば利用者カードを交付。（共通利用券は不要）

4 青森市民が利用可能な圏域内自治体の図書館・図書室

- 平内町 … 平内町立図書館（蔵書数：67,583冊）
- 今別町 … 町民ふれあい文庫（蔵書数：6,300冊）
- 外ヶ浜町 … 外ヶ浜町中央公民館（蔵書数：7,993冊）
- 蓬田村 … 蓬田村ふるさと総合センター（蔵書数：7,885冊）

5 事業実施における各市町村での周知

- ・ 図書館・図書室において周知用ポスター（別紙2）掲示、ホームページ等での周知。


■ 青森県内図書館共通利用券

県内全ての市町村の図書館や公民館図書室等を利用できます。

居住もしくは通勤・通学する市町村の図書館・公民館等で作れます。発行時に住所が確認できるものが必要となります。

(表面)

青森県内図書館共通利用券			
ふりがな 氏名	自宅 電話 勤務先		
生年月日	年	月	日 男・女
〒 ー			
住所			
登録番号	年度ー		
有効期限	年	月	日
年	月	日	発行館 青森市民図書館



(裏面)

利用案内

1. 利用する図書館に、この利用券を提示し、利用カード等の交付を受けてください。
2. 閲覧、貸出等については、利用する図書館の規則等を守ってください。
3. 図書等の返却先は、当該利用館となりますので注意してください。
4. 図書等の取扱いについては、汚・破損のないように注意してください。
5. この利用券を紛失、又は記載事項に変更があった場合は、速やかに発行館に届け出てください。

青森圏域連携中枢都市圏内の5市町村の 図書館等の利用が便利になります

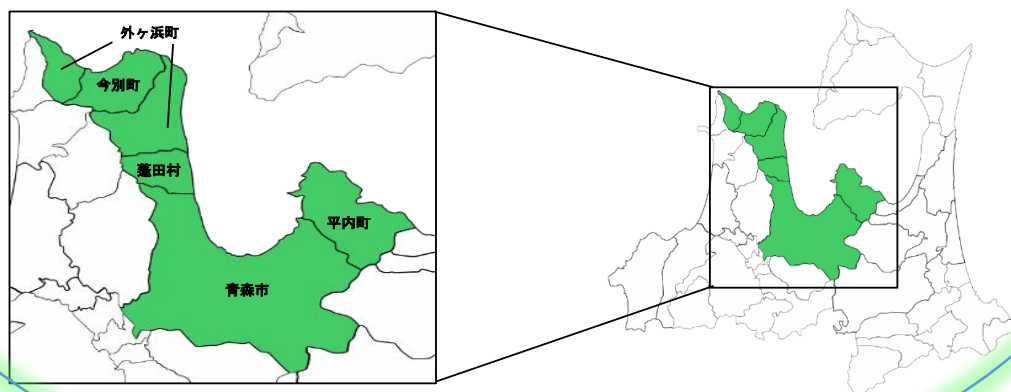
別紙2

青森市、平内町、今別町、外ヶ浜町、蓬田村にお住まいの方は、**令和3年2月1日**より、5市町村すべての図書館及び図書室を利用することができます。

青森圏域連携中枢都市圏



青森都市圏 ONE TEAM



- 登録、貸出方法等は市町村によって異なりますので、利用する図書館等にお問い合わせください。
- 返却の際は、借りた図書館等にお返しく下さい。



青森市民図書館
TEL 017-776-2455



平内町立図書館
TEL 017-755-2138



町民ふれあい文庫(今別町)
TEL 0174-31-5140



外ヶ浜町中央公民館
TEL 0174-22-3175



蓬田村ふるさと総合センター
TEL 0174-31-3111

報告事項（3）

利用者カードの有効期間について

利用者カードの有効期間設定について

《4月から利用者カードの有効期間が3年に》

- 登録内容を定期的に確認するため、令和3年4月1日から利用者カードの有効期間が3年になります。
- 現在利用者カードをお持ちのかたは、有効期間が令和6年3月31日までになります。(今回は更新の手続きは不要ですが、次回更新の際は、身分証明書が必要です。)

《今後は3年ごとに更新》

- 利用者カードは、有効期限日までに再度本人確認をすることで、更新することができます。
〈更新手続きに必要なもの〉
 - ①利用者カード
 - ②運転免許証、健康保険証、マイナンバーカードなどの身分証明書
- 更新手続きをした日から、3年間有効となります。
- 有効期限日を過ぎてしまった場合は、再度利用者登録をすることになります。

《有効期限日はシールでお知らせ》

- 有効期間の設定に伴い、利用者カードに有効期限日を記載したシールを貼り付けます。
- 現在利用者カードをお持ちのかたには、今後貸出し等で利用者カードをご提示いただいた際に、貼付していきます。

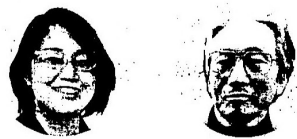


そ の 他

父が写した昭和の青森

工藤正市さん遺品 娘がインスタ投稿

海外から反響相次ぐ



アマチュアカメラマンとして、戦後から昭和30年代を中心に活躍した青森市の故工藤正市さん(89)の遺品「父が写した昭和の青森」が、長女でテレビディレクターの加奈子さん(55)が東京都に在住、顔写真左側が写真共有アプリ「インスタグラム」に投稿し、反響を呼んでいる。青森市の自宅から大量のネガフィルムが新たに見つかり、約500枚分をデータ化。昭和の本県で暮らす人々の生き生きとした姿を捉えた白黒写真は、海外から「人間味があふれている」「瞬間の切り取りが良い」などコメントが相次いでいる。加奈子さんは「いつか海外の方も見るようにできる写真集を作りたい」と夢を描く。(高田春菜)

「いつか写真集に」

正市さんは1929(昭和4)年、青森市で生まれた。東奥日報社で長く報道写真に携わる一方、アマチュアカメラマンとして活躍。写真雑誌に投稿した作品は常に上位入賞で、53年には写真雑誌「CAMERA」で年間1位を獲得した。2014年に死去。同年には県立郷土館で特別企画展が開かれている。

新たなネガフィルムが自宅から見つかったのは2年前。天袋の奥から段ボール箱が二つ出てきたとい

「記録性あり価値高い」専門家ら

故工藤正市さんが街中でカメラを握る姿を、遠目から眺めていた人物がいた。青森の景色や暮らし人々を撮っている写真家・サトウユウジさん(83)「青森市」

同じ場所にも何度も足を運び、被写体と向き合う正市

さんの姿を見て、サトウさんは写真への知識を深めていった。「正市さんはストリートに現実を写していた。だから正市さんの写真をこの世で最も信頼している。当時写したものを、今ネットで見られるのはすごいこと」と語った。

いと云っていたので驚いた。加奈子さんの夫がネガフィルムをデータ化した。「街で撮影された写真は、19

50年前後に自宅(沖館)から会社(新町)までの通勤中に撮ったと思われる」と加奈子さん。「えんじ」といわれる振りかごに入る赤ちゃんにおぼあちゃんが笑い掛ける姿や、家族とみられる2人が自転車に乗り街を駆けていく姿など、写真に写る被写体はかじこまらず自然体。加奈子さんもいい写真だと思うものばかりで、どうにかして世に出したいと模索した。

それが形になったのが今年3月。新型コロナウイルスの影響で仕事に余裕ができ、インスタグラムで投稿を始めた。しばらくすると海外のアニメ好き数人から反応があった。6月下旬、ネット上で影響力のあるチリ人が加奈子さんの投稿を紹介。それをきっかけにフォロワー数が1週間で約800人増えた。今月7日時点でフォロワー数は1700人を超え、約7割が外国人。「反応が急激に増え、全てのコメントの確認はできていないが、父の写真は海外の方にも感情が伝わるものだったよ」と話した。

海自第2航空群司令 降旗氏着任あいさつ 副知事を訪問

海上自衛隊第2航空群(八戸市)司令の降旗琢丸海将補(48)が7日、着任あいさつのため県庁を訪れ、青山祐治副知事と懇談した。降旗司令は3月18日付で着任。当初は4月に県庁を訪れる予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言を受け、訪問を見合わせていた。懇談で降旗司令は、九州各地の猛烈な雨を話題に挙げ「豪雨災害などは、いつ青森県で起きるかわからない」と話した。

正市さんは静かで優しく、朝晩釣りに出掛けるおらかな人柄だったという。1958年(昭和33)には写真雑誌への投稿を始め、報道としての写真のみ撮るようになった。インスタグラム投稿は、父の本意ではないかもしれないと加奈子さんは話す。「でも多くの方が写真を見て喜んでくれるから、きっとまんざらでもない顔をするでしょう」と話した。



shoichi_kudo_aomori



shoichi_kudo_aomori

shoichi_kudo_aomori #aomori #1950s #shoichi_kudo #monochrome #film #snapshot #discoverjapan #retro #青森 #工藤正市 #押入に眠っていた写真

写真上、下とも加奈子さんがインスタグラムに投稿した正市さん撮影の写真

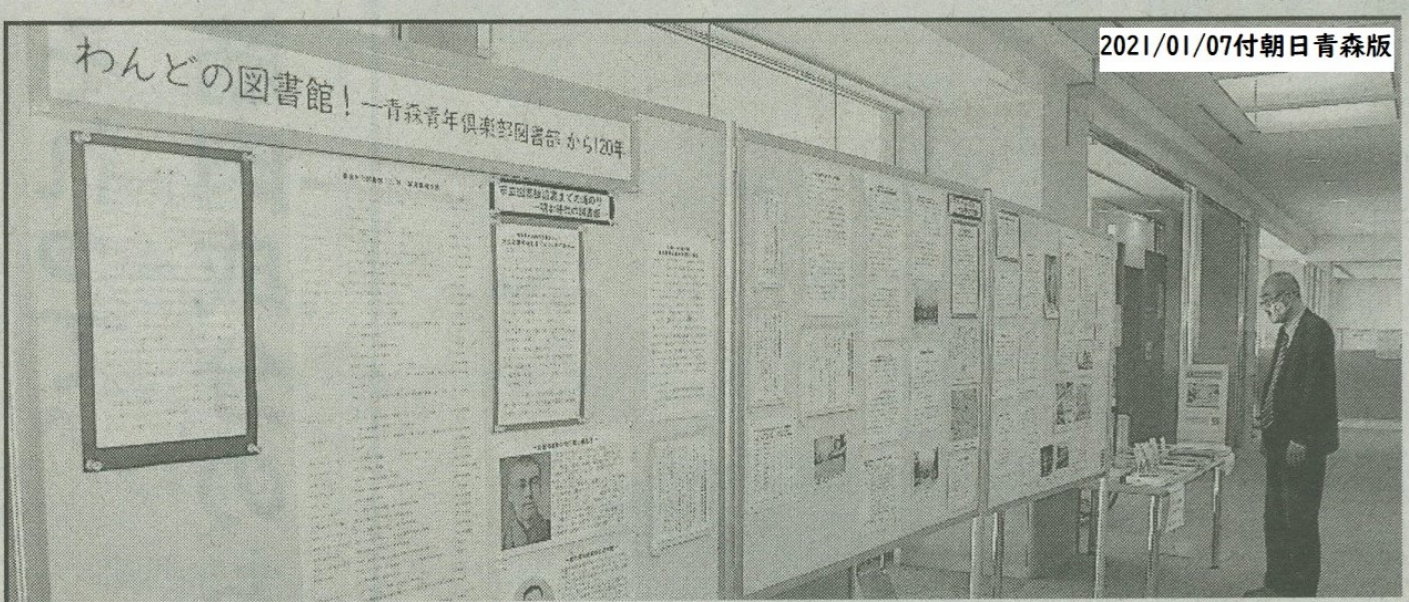
高橋さんは正市さんの写真について、「労働者が生命力を放っている瞬間を捉えるのがうまかった。相当勉強しないと撮れない作品ばかり」と評価。加奈子さんがネガフィルムを基に投稿していることについては、正市さんが意図した陰影の付け方を再現するのは難しいとしつつ、「当時の建物なども写っているため、記録性があり価値が高い」と話した。(高田春菜)

NTTコムへのサイバー攻撃 厚労省通信情報も流出か

NTTコミュニケーションズ(東京)がサイバー攻撃を受け、自衛隊や海上保安庁の情報が流出したとみられる問題で、厚生労働省



い。県側としっかり意思疎通できるようにしたい」と話した。



「わんど」の図書館 歴史めくる

誕生120年 青森で資料展

青森市民図書館8階で、企画展「わんどの図書館！—青森青年倶楽部図書部から120年」が開かれている。無料。12日まで。

青森市の市制施行（1898年）から2年後の1900年、青森市の図書館のルーツといえる民間人による「青森青年倶楽部図書部」が設置された。昨年はその誕生から120年という節目の年で、津軽弁で「わんど」（私たち）の図書館の歩みをたどろうと、同市民図書館の歴史資料室が企画した。

資料によると、青森市の図書館の歴史は青森青年倶楽部図書部から始まり、1907年に青森市立図書館が開館。その後、1928年に開館した県立図書館に蔵書のすべてを提供し、青森市が所管する図書館はこの時になくな

った、というのがこれまでの通説だった。だが、今回の企画展に向けての調査の過程で、県に提供しなかった蔵書約1600冊を収める青森市立簡易図書館が存在していたことが判明した。この簡易図書館がいつまで存続したかは不明だという。

市民待望の青森市民図書館が同市松原の中学校跡地に開館したのが1975年。今回の展示資料の中には開館当日、貸し出しカウンターに子どもたちがぎゅうぎゅう詰めで並んでいる写真もある。市民図書館は2001年に現在の市役所駅前庁舎アウガ内に移転し、今に至る。

歴史資料室の工藤大輔室長は「青森市民にわんどの図書館がどういう変遷をたどってきたのか知ってもらえたら」と話している。
（武沢昌英）